

# スポーツ夢基金で 塩尻市をもっと元気に!!



西條 富雄  
(清風クラブ)

◆スポーツ夢基金の創設を  
問 現在、市が交付している  
大会出場等激励金は、

答 県レベルでの予選会を経て開催される全国規模のスポーツ大会、国民大会及び世界大会に出場する市民に激励金をお渡ししている。

問 塩尻市からオリンピックや世界大会出場を目指す若者の発掘・育成・支援に繋がる夢基金の創設を提案するが市の考え方は。

答 子どもたちの夢を広げる基金で喜ばしい。  
原資が集まって継続性のある基金になるのであれば、具体的に検討したい。

問 基金つくりのため、寄付者の名を銘板に刻み、末永く顕彰することで、寄付者を募ることに、市の考え方は。

答 寄付者への謝意を込めて銘板に名を刻むことなど、基金の制度設計ができれば、具体的に進めていきたい。



県大会で連続優勝の野村キンボールチーム  
(市民功労賞表彰式にて)

問 スポーツでの活躍が、市の活力を創出し、もっと元気になる。この様な塩尻市の環境でスポーツに秀でた子どもを育てることができるとは、移住定住にも繋がるのではないかと、市の考え方は。

答 子どもが元気に活躍するためにも、子どもの夢は大きいほど良い。その大きな花を咲かせるために対応していきたいので、前向きに検討し制度設計していく。

# ワーク・ライフ・ バランスの推進を



丸山 寿子  
(市民派連合)

◆子育て支援の充実を  
問 平成28年度のファミリーサポート事業の拡大内容は。

答 3カ月から12歳までの子どもを預かりサポートをしてきたが、出産後すぐに一人きりの子育てが始まるケースが増加しており、サポーターが家庭訪問し乳幼児の世話や家事を手伝えるように拡大した。

◆市民の交通安全対策強化を  
問 小・中学校の通学路合同点検が4年目だが28年度も継続する考えはどうか。

答 関係機関が合同で点検し、横断旗ボックスや路面のカラー舗装の実施等行ってきた。28年度も継続していく。

問 車の運転が不安になった高齢者等が運転免許証自主返納をした場合に「運転経歴証明書」の交付が受けられ身分証明書になるほか、県内のタクシー会社の大半が提示により運賃を1割引にするなど特典がある。返納の仕方も周知すべきと思うがどうか。

答 高齢者のさまざまな集

で伝えたり、機会を捉えて広報をしていく。  
問 免許証自主返納の申請により、バスの回数券を支援している自治体がある。当市でも検討してほしい。

◆「仕事と生活の調和」推進  
問 ワーク・ライフ・バランスの推進は少子化対策の一つでもあるが、市民を巻き込んだ講座の開催は。

答 企業セミナー等実施してきたが、27年度はワールドカフェの手法を学ぶセミナーでもテーマとして取り上げ好評だった。28年度も引き続き取り組んでいく。



ワーク・ライフ・バランス講座